

大学番号：私160

[平成21年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

届出

芝浦工業大学 デザイン工学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 芝浦工業大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画室

電話番号 03-5859-7200

F A X 03-5859-7201

e-mail kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. 既設大学等の状況（省略）
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項に対する履行状況等
7. その他の全般的事項

大学番号：私160

[平成21年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

届出

芝浦工業大学 デザイン工学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 芝浦工業大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画室

電話番号 03-5859-7200

F A X 03-5859-7201

e-mail kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 芝浦工業大学

(2) 大学名

芝浦工業大学

(3) 大学の位置

〒108-8548
東京都港区芝浦3丁目9番14号
(東京都江東区豊洲3丁目7番5号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ナガトモ タカオ) 長友隆男 (平成18年6月)	(コダレ コウイチ) 小暮剛一 (平成21年6月) (イガラシ ヒサヤ) 五十嵐久也 (平成22年6月)	平成21年6月26日付任期満了につき変更(22) 平成22年6月16日付体調不良による辞任に伴う変更(23)
	(ツゲ アヤオ) 柘植綾夫 (平成19年12月)	(ムラカミ マサト) 村上雅人 (平成24年4月)	平成24年3月31日付任期満了につき変更(24)
学部長	(オカモト シキ) 岡本史紀 (平成21年4月)	(シノザキ ミチヒコ) 篠崎道彦 (平成23年4月)	平成23年3月31日付定年退職につき変更(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
デザイン工学部 デザイン工学科 学士(デザイン工学)	4年	140人	0年次人	560人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	140 () []		140 () []		140 () []		140 () []		1.16倍	
志願者数	2,468 () [1]	(-) [-]	3,466 () [2]	(-) [-]	3,189 () [4]	(-) [-]	3,237 (3) [4]	(-) [-]		
受験者数	2,392 () [1]	(-) [-]	3,409 () [2]	(-) [-]	3,106 () [4]	(-) [-]	3,141 (3) [4]	(-) [-]		
合格者数	465 () [1]	(-) [-]	607 () [1]	(-) [-]	612 () [1]	(-) [-]	648 (0) [1]	(-) [-]		
B 入学者数	155 (-) [1]	() []	174 (-) [1]	() []	152 (-) [0]	() []	170 (0) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A	1.11		1.24		1.09		1.21			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 153	[]	[1] 174	[]	[-] 152	[]	[1] 170	[]	
2年次	/		[-] 150	[]	[-] 172	[]	[-] 151	[]	
3年次			/		[-] 149	[]	[1] 170	[]	
4年次	/				/		[-] 143	[]	
計			[1] 153	[1] 324			[1] 473	[2] 491	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	155 人	6 人	平成21年度	3 人	1 人	・他の教育機関への入学・転学	3.9%
			平成22年度	1 人	- 人	・学生個人の心身に関する事情	
			平成23年度	2 人	- 人	・家庭の事情 ・就職	
			平成24年度	0 人	- 人		
平成22年度 入学者	174 人	5 人	平成22年度	2 人	- 人	・家庭の事情 ・除籍	2.9%
			平成23年度	3 人	- 人	・他の教育機関への入学・転学(2名) ・除籍(1名)	
			平成24年度	0 人	- 人		
平成23年度 入学者	152 人	1 人	平成23年度	1 人	- 人	・他の教育機関への入学・転学	0.7%
			平成24年度	0 人	- 人		
平成24年度 入学者	170 人	0 人	平成24年度	0 人	- 人		0.0%
合 計	651 人	12 人					1.8%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<デザイン工学部 デザイン工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教養科目	哲学 1	1234 前		2								
	哲学 2	1234 後		2								
	工学倫理	1234 前		2								
	企業倫理	1234 後		2								
	民俗学	1234 前		2								
	比較文化論	1234 後		2								
	認知心理学	1234 前後 前		2		1						履修者増を想定し開講期の増 (23) 教育効果を考慮し担当教員追加 (22)
	組織心理学	1234 後		2								
	行動科学	1234 後 34 前		2								教育効果を考慮し配当年次、開講期変更 (22)
	人間工学	34 後		2								
	マクロ経済学	34 前後		2				0	1			担当科目時間削減のため担当教員変更 (21)
	ミクロ経済学	34 後 前		2								教育効果を考慮し開講期変更 (24)
	統計学 (社会科学系)	42 前後 前		2								教科の全体構成を見直し科目区分を共通基礎へ変更 (23) 教育効果を考慮し開講期変更 (22)
	計量経済学	34 後		2								
	社会学/社会情報学	12 前後		2								教育効果を考慮し開講期変更 (24)
	経営学	34 前		2			1	0	1			昇格による教員配置変更 (22)
	環境学	234 前		2								
	エコロジー	234 後		2								
	プレゼンテーション	1 前後 前		2								履修者増による開講期を追加 (21)
	体育講義	1234 前後 前		2								履修者増による開講期を追加 (21)
	体育実技	1234 前後 前		1								履修者増による開講期を追加 (21)
	法学	1234 後		2								
	日本国憲法	1234 後		2								
	教育学概論	1234 前後		2								教育効果を考慮し開講期変更 (22)
	行政法	1234 後 前		2								教育効果を考慮し開講期変更 (22)
	キャリアと就職	1 後		2			1	2	1	0	1	退職による担当教員削除 (24) 昇格による教員配置変更 (22)
	キャリア形成コミュニケーション	2 後		2			1	2	1	0	1	退職による担当教員削除 (24) 昇格による教員配置変更 (22)
	キャリア・デザイン	3 前		2			1	2	1	0	1	担当教員の職位変更 (24) 昇格による教員配置変更 (22)
	科学技術と哲学	1234 前		2								本部キャンパス (芝浦) における共通教養科目拡充による科目新設 (22)
	自然と人間	1234 後		2								本部キャンパス (芝浦) における共通教養科目拡充による科目新設 (22)
認識論	1234 後		2					1			本部キャンパス (芝浦) における共通教養科目拡充による科目新設、専任教員採用による教員追加 (22)	
デザイン造形演習 1	2 前		2			2					実技教育機会拡充のため科目新設 (22)	
デザイン造形演習 2	2 後		2			2					実技教育機会拡充のため科目新設 (22)	
時事英語	3 前		2						0	1	退職による担当教員変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教養科目	ライティング	3 後		2			0 4					退職による担当教員変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	総合英語	1 前		2			1					専任教員採用による教員追加 (22)
	英語表現	1 後		2			1					専任教員採用による教員追加 (22)
	英語講読 1	2 前		2			1					専任教員採用による教員追加 (22)
	英語講読 2	2 後		2			1 2					退職による担当教員変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	基礎中国語	1 前		2								
	中国語表現	1 後		2								
	中国語講読 1	2 前		2								
	中国語講読 2	2 後		2								
	社会ニーズ調査技法	1234 前		2								学部固有のスキルを強化するため科目新設 (23)
	社会ニーズ分析	1234 後		2								学部固有のスキルを強化するため科目新設 (23)
	教育原論	1 後		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23)
	教育の近代史	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23)
	教育の現代史	1 後		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23)
	教育心理学	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23)
	教育社会学	3 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23)
工学基礎概論	1 前			2							教職課程認定に伴う自由科目の新設 (23)	
職業指導	3 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (23)	
共通基礎科目 (サイエンス科目)	微積分学 1	1 前	2			1 2	1					専任教員採用による教員追加 (24) 担当教員職位変更による変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	微積分学 1 演習	1 前		1		1						専任教員採用による教員追加 (22)
	微積分学 2	1 後		2		1 2	1					専任教員採用による教員追加 (24) 担当教員職位変更による変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	微積分学 2 演習	1 後		1		1						教育効果を考慮し科目新設 (22)
	線形代数 1	1 前	2			1 2	1					専任教員採用による教員追加 (24) 担当教員職位変更による変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	線形代数 2	1 後		2		1 2	1					専任教員採用による教員追加 (24) 担当教員職位変更による変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	解析学 1	2 前		2		0 1	1					専任教員採用による教員追加 (24) 担当教員職位変更による変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	解析学 2	2 後		2		0 1	1					専任教員採用による教員追加 (24) 担当教員職位変更による変更 (23) 専任教員採用による教員追加 (22)
	数値解析	2 前	2					1				専任教員採用による教員追加 (24)
	微分方程式	1 後		2		1 2	1					専任教員採用による教員追加 (24) 専任教員採用による教員追加 (22)
	確率統計	2 後		2				1				専任教員採用による教員追加 (24)
	物理学 1	1 後		2								
	物理学 2	2 前		2								
	一般力学 1	1 前		2								
一般力学 2	1 後		2									
化学	1 前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基礎科目 (エンジニアリング科目)	情報処理 1	1 前	2			3 2 1				1	教育効果を考慮し、担当教員の追加 (24) 教育効果を考慮し担当教員変更、専任教員(助教)採用による教員追加 (23)
	情報処理演習 1	1 前	1			3 2 1				1	教育効果を考慮し、担当教員の追加 (24) 教育効果を考慮し担当教員変更、専任教員(助教)採用による教員追加 (23)
	情報処理 2	1 後	2			1 0 1	0 1			1	教育効果を考慮し、担当教員の変更 (24) 専任教員(助教)採用による教員変更 (23)
	情報処理演習 2	1 後	1			1 0 1	0 1			1	教育効果を考慮し、担当教員の変更 (24) 専任教員(助教)採用による教員変更 (23)
	工学システム解析	1 後	2			1					
	電気機器基礎	2 後	2								
	数理計画法	2 前	2				1				専任教員採用による教員追加 (24)
	CAD/CG演習	2 前	1								
	材料科学	2 後	2			2 1					教育効果を考慮し担当教員追加 (21)
	機械力学	2 前	2								
	構造力学 1	2 前	2								
	材料力学	2 前	2			1					
	基礎エレクトロニクス	2 前	2			1	0 1				昇格による教員配置変更 (23)
	シミュレーション工学	3 前	2			1					
	統計学(社会科学系)	12 前後前	2								科目名称変更 (23) 教育効果を考慮し開講期変更 (22)
	社会統計解析	2 後	2								教育効果を考慮し科目の新設 (23)
熱流体基礎	2 後	2			1					教育効果を考慮し科目の新設 (25)	
共通専門科目	デザイン工学入門	1 前	2			1					
	デザイン史	1 後	2								
	ものづくり概論	1 前	2			1					
	建築・空間デザイン 1	2 前	2			1					
	総合導入演習	1 前	2			17 15 16 15 1	3 2 3		1		専任教員採用による教員追加 (24) 定年退職のため担当教員変更、専任教員(助教)採用による追加 (23) 昇格による教員配置変更 (22) 教育効果を考慮し担当教員追加 (21)
	デザイン製作実験	1 後	2								
	造形論	2 前	2			1					
	色彩論	2 後	2			1					
	図学	2 前	1								
	プロダクトデザイン	2 前	2			1					
	パブリックデザイン	2 後	2								
	3Dモデリング	2 後	2			1					
	機構デザイン	2 後	2								
	構造デザイン	2 後	2								
	コンセプトデザイン	2 前	2			1					
	プレゼンテーションデザイン	2 前	2								
計測制御工学	2 後	2									
ディジタル回路	2 前	2							1	専任教員(助教)採用による教員追加 (23)	
コンピュータアーキテクチャ	2 後	2			1						
プログラミング	2 前	2			1 2					担当教員数変更 (23)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通専門科目	プログラミング演習	2 前		2		1 2					担当教員数変更 (23)
	経営管理論	2 後		2							教育効果を考慮し開講期変更 (22)
	オペレーションズ・リサーチ	2 後		2		1					非常勤講師定年退職による担当教員変更 (24)
	財務会計	2 後		2							
	マーケティング	34 前		2		1	0 1				昇格による教員配置変更 (22)
	マーケティング・リサーチ	34 後		2		1	0 1				配当科目のバランスを考慮し開講期変更 (23) 昇格による教員配置変更 (22)
	ゲーム理論／戦略的思考	34 後		2		1	0 1				昇格による教員配置変更 (22)
	モデリング／シミュレーション	34 後		2							
	インダストリアルエンジニアリング	2 前		2		1					教育効果を考慮し担当教員変更 (21)
	金型デザイン	2 前		2		1					
	CAD/CAMシステム	2 前		2		1					
	CAD/CAM演習	2 後		2		2 1					教育効果を考慮し担当教員追加 (21)
	生産加工学	2 後		2		1					
	社会調査法	1 2 後		2		1					教育効果を考慮し配当年度変更、担当教員追加 (22)
	建築・空間デザイン2	2 後		2			1				
	空間デザイン基礎	1 後		2		1					
	建築・都市論	1 前		2		1					
	都市住宅論	2 後		2		1					
	空間情報デザイン	3 前		2		1					
	空間情報デザイン演習	3 前		2		1					
知的財産権論	3 前		2								
ビジネスモデル論	4 前		2		1	0 1				昇格による教員配置変更 (22) 教育効果を考慮し担当教員変更 (21)	
インターンシップ	234 前後		2		17 16 15 1	3 2 3 0				専任教員採用による教員追加 (24) 昇格による教員配置変更 (22) 教育効果を考慮し担当教員追加 (21)	
専門科目	サステナブルデザイン	3 前		2							
	ユニバーサルデザイン	3 前		2		1					
	エモーショナルデザイン	3 後		2		1					教育効果を考慮し開講期を変更 (24)
	インターフェースデザイン	3 後		2							配当科目のバランスを考慮し開講期変更 (23)
	デザインマネジメント	3 後		2		1					
	デザインマーケティング	3 前		2		1					
	コミュニケーションデザイン	3 後		2							配当科目のバランスを考慮し開講期変更 (23)
	プロダクトデザイン演習 1	3 前		2		2 4					担当時間数調整のため教員変更 (24)
	プロダクトデザイン演習 2	3 後		2		2 4					担当時間数調整のため教員変更 (24)
	プロジェクト演習 1 (プロダクトデザイン)	3 前		4		5 4 2					専任教員採用による教員追加 (24) 教育効果を考慮し担当教員(教授)追加 (23)
	プロジェクト演習 5 (プロダクトデザイン)	3 後		4		5 4 2					専任教員採用による教員追加 (24) 教育効果を考慮し担当教員(教授)追加 (23)
	メカトロニクス	3 前		2		1					
	アクチュエータ工学	3 後		2							
	ロボティクス	3 後		2		1					
モーションコントロール	3 前		2		1					配当科目のバランスを考慮し開講期変更 (23)	
信号処理	3 前		2								
システムモデリング	3 後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ソフトウェア設計論	3 前		2		1						
	ソフトウェア設計論演習	3 前		1		1						
	オブジェクト指向プログラミング	2 後		2		1						
	オブジェクト指向プログラミング演習	2 後		1		2 4						教育効果を考慮し担当教員追加 (21)
	情報ネットワーク	3 後		2								
	組込みシステム 1	3 前		2		0 4 2						担当時間数調整のため教員変更 (23) 教育効果を考慮し担当教員変更 (21)
	組込みシステム 2	3 後		2		0 4 2						担当時間数調整のため教員変更 (23) 教育効果を考慮し担当教員変更 (21)
	マイクロコンピュータ	2 前		2			1					
	データ構造とアルゴリズム	2 前		2		1 3 4						担当教員数変更 (23) 教育効果を考慮し担当教員追加 (21)
	プロジェクト演習 2 (メカトロニクスシステム・組込みソフトウェア)	3 前		4		2 4	0 4					昇格による教員配置変更 (23)
	プロジェクト演習 6 (メカトロニクスシステム・組込みソフトウェア)	3 後		4		2						
	コストマネジメント	3 後		2		1						
	生産システムマネジメント	3 後		2		1						
	品質マネジメント	3 前		2		1						
	物流管理	3 後		2								
	金型デザイン実習	2 後		2		2						
	形状創製実習	2 前		2		1						
	成形加工実習	3 前		2								
	高度CAD/CAM演習	3 前		2								
	GAE演習	3 後		2		1						
	プロジェクト演習 3 (生産システムデザイン)	3 前		4		3 4 3	0 4					担当教員数変更 (23) 昇格による教員配置変更 (22) 教育効果を考慮し担当教員追加 (21)
	プロジェクト演習 7 (生産システムデザイン)	3 後		4		3 4 3	0 4					担当教員数変更 (23) 昇格による教員配置変更 (22) 教育効果を考慮し担当教員追加 (21)
	造形・製図演習 1	1 前		2		1						
	造形・製図演習 2	1 後		2			1					
	建築・空間デザイン演習 1	2 前		2		2						
	建築・空間デザイン演習 2	2 後		2		2						
	景観デザイン	2 後		2		1						
	防災・安全計画	3 後		2								
	空間保全再生計画	3 後		2								
	都市施設計画	3 前		2			1					
	建築・都市法制	3 前		2			1					
	都市開発マネジメント	3 後		2								
	プロジェクト演習 4 (建築・空間デザイン)	3 前		4		3	1					
	プロジェクト演習 8 (建築・空間デザイン)	3 後		4		3	1					
環境工学	2 前		2									
建築設備	2 後		2									
建築構造	2 前		2									
構造力学 2	2 後		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築材料	3 前		2								
	建築生産	3 後		2								
	イタリア建築実習A	3 前		2								教育効果を考慮し科目の新設 (24)
	韓国建築実習A	3 前		2			1					教育効果を考慮し科目の新設 (24)
	ロシア建築実習A	3 前		2								教育効果を考慮し科目の新設 (24)
	フランス建築実習A	3 前		2								教育効果を考慮し科目の新設 (24)
	イタリア建築実習B	3 後		2								教育効果を考慮し科目の新設 (24)
	韓国建築実習B	3 後		2			1					教育効果を考慮し科目の新設 (24)
	ロシア建築実習B	3 後		2								教育効果を考慮し科目の新設 (24)
	フランス建築実習B	3 後		2								教育効果を考慮し科目の新設 (24)
総合プロジェクト	4 前後	6				17 46 14	3 2 3					専任教員採用による教員追加 (24) 教育効果を考慮し担当教員追加、昇格による教員配置変更 (22)
教職に関する科目	教職論	1 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (23)
	(教育原論)	1 後		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23) 共通教養科目 (再掲)
	(教育の近代史)	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23) 共通教養科目 (再掲)
	(教育の現代史)	1 後		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23) 共通教養科目 (再掲)
	(教育心理学)	1 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (23) 共通教養科目 (再掲)
	(教育社会学)	3 前		2								教職課程認定に伴う科目の新設 (25) 共通教養科目 (再掲)
	教育課程論	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (24)
	工業科指導法1	2 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (24)
	工業科指導法2	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (24)
	特別活動の研究	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (24)
	教育方法・技術論	2 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (24)
	生徒・進路指導論	2 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (24)
	教育相談論	1 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (23)
	事前・事後指導	3 後			1							教職課程認定に伴う科目の新設 (25) 共通教養科目 (再掲)
	教育実習1	4 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (26)
	教職実践演習 (中・高)	4 後			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (26)
	道德教育の研究	2 前			2							教職課程認定に伴う科目の新設 (24)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 17	科目 151	科目 0	科目 168	科目 17 [-]	科目 174 [23]	科目 14 [14]	科目 205 [37]	教育効果を考慮しカリキュラムを見直し、授業科目の増(24) 教職課程設置に伴う増、教育効果を考慮しカリキュラム見直し、授業科目の増(23)

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	教育学概論	2	1-4	共通教養	選択	教職課程を設置したことにより、類似の内容の科目が開講されるため未開講とした。

(注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	「該当なし」					

(注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「教育学概論」は、教職課程科目の開講により、同等の科目が新設されるため、教育内容は維持していると判断している。学生への周知は、学期始めのガイダンスで周知。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{196} = \boxed{0.00}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	「該当なし」		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<デザイン工学部 デザイン工学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
教職課程認定なし	教職課程認定に伴う教職課程科目を追加(23)

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教授会委員会の一つとしてFD委員会を設置し、既存の他学部が進めている先行事例を参考に具体的な取組を実施・検討している。また、全学的組織として全学FD・SD改革推進委員会が学長の下で活動しており、現在はセンター組織化を目指している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>月1回程度を目安に定期的に行っている。また、授業研究会の機会を利用し学部全教員を対象に、FD活動に関する提案を行う他、FD活動に関する意見の集約などFD活動を学部全体で推進していく。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>授業アンケートや授業研究会の実施など。</p> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none">1) 授業評価アンケート2) 教員相互の授業研究会3) 優秀教育教員賞受賞者の事例発表と講演4) 新任教員研修会 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none">1) 授業評価アンケート・・・前後期前授業で実施、結果をWebで公開を予定している。2) 教員相互の授業研究会・・・月1回、1名の教員が個々のシラバスあるいは自身で執筆した教科書等を紹介する。3) 優秀教育教員賞受賞者の事例発表と講演・・・非常勤も含めた全教員の場で実施。4) 新任教員研修会・・・全学FDで平成23年度は4月と9月の年2回実施予定。4月は講義形式、9月はワークショップ形式 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>授業評価アンケートは前後期とも専任、非常勤の全授業科目を対象に実施している。授業研究会は、毎月教授会または学科会議の後、全ての学部専任教員と学生課職員が出席している。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>新任教員のうち、教員歴のない教員は私立大学連盟主催の新任教員研修に参加させるなど、新設の小さい学部ではカバーできない部分を外部を使って補い、授業力の向上に力を入れている。</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「学校法人芝浦工業大学評価委員会規程」に基づき、自ら点検・評価を行い、大学運営を大学設置趣旨の目的に添った展開を行うよう全学を上げて取組んでいる。

デザイン工学部は、学部長室において評価体制を整備し、平成23年度に評価機関（(財)大学基準協会）の評価を受け、申請を行った。

また、大学においては大学全体の取り組みとして”チャレンジSIT-90作戦”において《教育・研究・イノベーションの一体推進の新たな挑戦》を推進テーマとし、各教学機関、センター等から年間の実施計画（行動計画）を年度当初に提出させ、学長室と各機関とのすり合わせ、中間報告、自己評価を含む最終報告を大学の全学会議で行い、PDCAの実質化を図っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・公表済み

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学Web上での公表等

③ 認証評価を受ける計画

- ・(財)大学基準協会による平成23年度大学評価（認証評価）受審の結果、大学基準に適合していると認定された。

〔認定期間：2012（平成24）年4月1日～2019（平成31）年3月31日まで〕

（注）・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (H24 年 6 月 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.shibaura-it.ac.jp/about/new_department_report.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。